

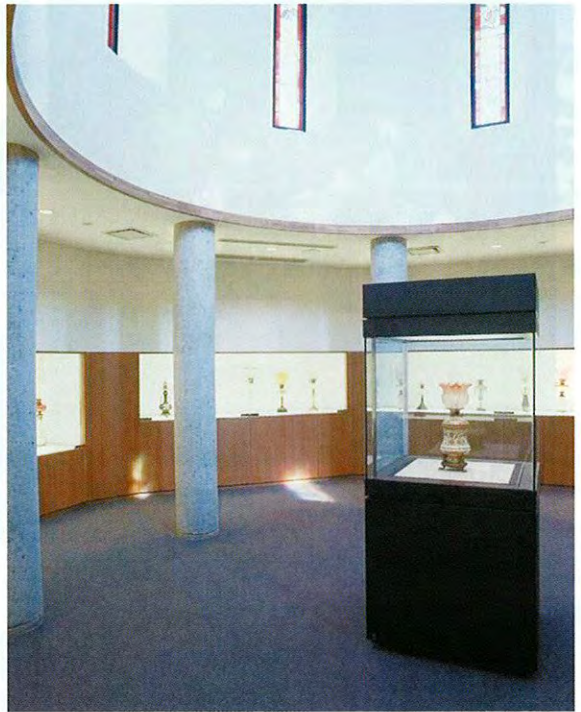
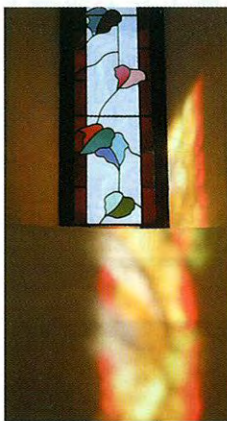


SUPPORTERS CLUB NEWS

友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
〈TEL〉0176-62-5858 〈FAX〉0176-62-5860
〈e-mail〉takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



鷹山宇一のコレクション＝欧米の華麗なオイルランプとこれらを展示するランプ館内
館内の天井ドームには池内康氏によるスタンドグラスが装飾され、透過する心地よい光が部屋の雰囲気さをさらに高めています

「ランプ館の楽しみ方」

友の会会員の皆様には、すでにご承知のことと思います。鷹山宇一記念美術館には絵画室のほか、鷹山宇一が長年にわたり収集した「ランプ」を常設展示するランプ館があり、これまでも訪れる多くの美術ファンを魅了し続けてきました。「ランプ」と一概に言いますが、鷹山のコレクションした多くは、19世紀後半の欧米を中心に作られ実際に使用された、燃料が石油のオイルランプです。これらはもちろん照明用に作られたものではありませんが、燃料が石油のランプは意外に歴史が新しく、しかも短い期間にしか作られていません。なぜ、オイルランプは短命であったのでしょうか。その訳は、灯りや燃料の歴史そして文明の発展の中に見ることが出来ます。

燃料である「石油」の発見と活用の歴史は、紀元前メソポタミアの時代に遡るほどに古いのですが、本格的に商業ベースで生産され始めたのは19世紀中頃のアメリカにおいてでした。以来急激に製造され、一般社会へ、そして、ヨーロッパへと普及していったオイルランプは、当時西洋で著しく発達したガラス細工と相俟って、灯り取りの目的のみならず室内を装飾する美術工芸品としても重宝されました。しかし1879年、エジソンが白熱電灯を発明、オイルを燃料とするランプは次第に街から姿を消していったのです。

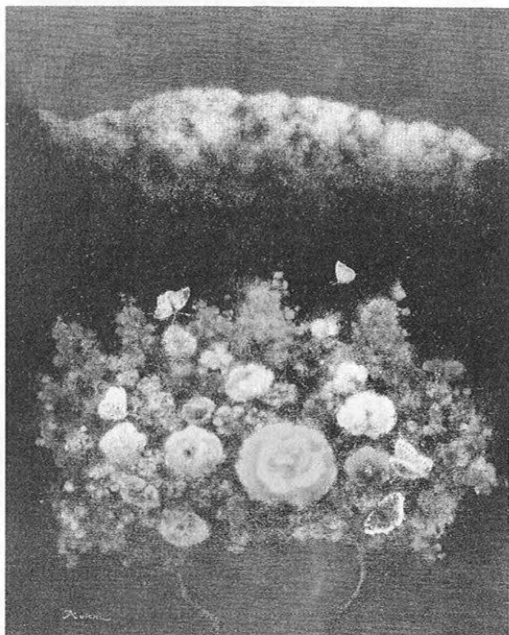
半世紀ほどの短い期間にしか作られなかったオイルランプ。これらの虜となつて膨大なコレクションを成した鷹山宇一を魅了したのは、炎を優しく包み込むホヤやランプ・シェード(笠)のガラス、そして、ランプを形作るそれぞれの部分が各々の専門職人によつて作られるという、職人の技と心意気であったと言います。20世紀のアル・ニューオーやアル・デコの時代にガレ、ドーム兄弟、ラリックなどのような一人のアーティストによる作品とは違い、鷹山の愛したこれらのランプには作家名など一つもついていません。しかしながらこのように、美しいものを創り上げることが出来る…無名の職人たちによる、研ぎ澄まされた美の感性と確かな技の結晶が「オイルランプ」なのです。鷹山宇一の生き様にも相通する気がするのはワタシだけでしょうか？

そんなランプたちにくっりと向き合える部屋「ランプ館」には、季節毎に至福の時間が訪れます。スタンドグラスが見事に投影され、極上の空間が誕生するのです。鷹山コレクションの一つ、双子のランプに描き出された天使たちも、きつと舞い降りてきているに違いありません。彼らが奏でる音楽が、今にも聞こえてきそうです。

(学芸員 大池亜希子)

鷹山宇一記念美術館ホームページの紹介 !!

友の会のページもありますので是非ご訪問を アドレス www.takayamamuseum.jp



最初に迎えてくれる「早春賦」(1990年)

七戸尋常高等小学校4年生の時、受持教師だった歌人・青山哀囚が少年・鷹山宇一に大きな影響を与え、画家を志す第一歩となったこと。旧制青森中学時代には棟方志功ら青年画家たちで組織された「青光画社」に加わり、本格的に絵の制作を開始したことなど鷹山画伯のプロフィールを紹介。年譜では大正11年(画伯14歳)に棟方志功と出会った旧制青森中学校(現在の青森県立青森高等学校)時代の写真を見ることが出来ます。作品紹介では、画伯の代表作、「早春賦」(1990年)、「小さな世界」(1993年)などが鑑賞できます。是非とも訪問し、素敵で丁寧な解説とあわせてお楽しみ下さい。

○「鷹山宇一について」のページ

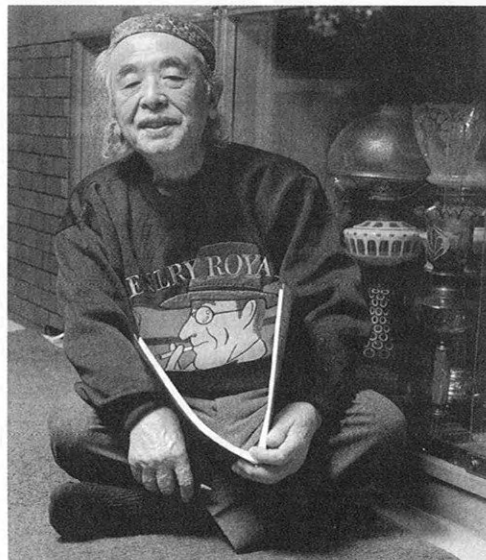
会報第55号(平成21年6月21日付)で鷹山宇一記念美術館ホームページ開設のお知らせをしてから、早いもので一年が経とうとしています。既に幾度となく訪問して下さった会員の方も多いと思いますが、一周年を迎えるにあたって、友の会会員の身近なホームページとして未長く親しみ育てて頂きたいという願いを込めて「鷹山宇一について」「友の会」など、主なページの概要をご紹介します。まだ訪問されていない方はこれを機会に是非ご訪問下さるようお願いいたします。

鷹山宇一記念美術館の今がわかる最新号は会員の特典ですが、「友の会」のページを開いて、「旅行記」や「おすすぬ美術館」で紹介された美術館をバックナンバーから探し、見所等を確認してから出かける、より充実した旅行が楽しめると思います。
写真は会報第54号ですが、「おすすぬ美術館」は安野光雅美術館でした。

○「友の会」のページ

絵画、ランブコレクション、見町観音堂と小田子不動堂の国指定重要有形民俗文化財(南部小絵馬等)、スペイン陶器「レクシヨンの四つ」のエリアが案内図と一緒に紹介されていて館内を散策しているような気持ちで楽しむことができます。また、鷹山宇一のほか、七戸町出身及びゆかりの画家・鳥谷幡山、平野四郎、上泉華陽の作品と略歴を楽しむことができます。

○「展示作品」のページ

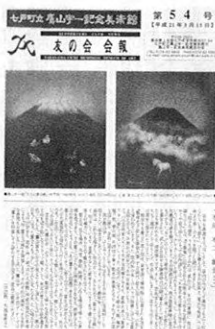


○「スタッフのひとりごと」のページ

3月10日のヤマセ雪の苦勞話や美術館周辺の雪景色、4月にオープン予定の産直施設の工事の様子、2月14日に小中学生と行った体験講座「ウッドカッターズクラブ」の作業風景、日の光を浴びたランブ館のステンドグラスが教えてくれる季節の移り変わりなどスタッフならではの生き生きとした美術館の様子が伝わってくるホットページです。是非訪問してください！(T・T)



上下とも鷹山宇一記念美術館HPから転載



鷹山宇一記念美術館HPから転載

鷹山宇一記念美術館
News & Report

2010年3月20日発行



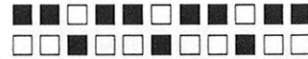
平成22年度の

展覧会

ごあんない



本年12月
当美術館北側に
いよいよ
東北新幹線「七戸十和田駅」
が開業いたします
これを記念した
特別展を企画しました
皆様のご来館を
心よほお待ちしております



館内保守看視
ボランティア活動
へのお誘いとお願ひ

特別展開催中の当館内で、作品とご来館のお客様の安全、そして、より良い鑑賞環境を保守するための活動です。

ご興味がおありの方は、美術館まで一報ください。ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

山形美術館 服部コレクション

伝統とエスプリ

20世紀フランス絵画の精髓

4月25日(日)→6月6日(日)

近・現代フランス絵画のコレクションで有名な山形美術館。同館にはその礎を築いた服部敬雄氏を顕彰して「服部コレクション」と称される珠玉の作品群があります。

ルオー、ヴラマンク、ピカソ、シヤガール等誰もが一度はその名を耳にしたことのある巨匠たちの作品をはじめ、ピュッフェ、カンニョールなど流行作家たちによる現代フランス絵画まで、20世紀フランス・パリ画壇を代表する画家たちによるコレクションです。

西洋の美術界において20世紀という時代は、特にフランス・パリを舞台に、フォーヴィスム、キュビスムといった、新しい時代に相応しい、色彩と造形に革命的な芸術運動が見られた時代と言えます。そんなパリ



©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2010

山形美術館 服部コレクション
マリ・ローランサン「犬を抱く少女」
(1921年、油彩・キャンヴァス)

には自ずと異国からも芸術家たちが集まりました。彼らはエコール・ド・パリと呼ばれ、母国の美術的な伝統や感性を融合して、独創的な芸術を創り上げました。芸術の都パリは、世界のアーティストたちの憧れの都であり、今日もなお多くの人々を魅了し、新たな芸術が誕生し続けています。

本展は、山形美術館「服部コレクション」58人の画家による60点の絵画作品により、フランス画壇の伝統とエスプリを存分に味わっていただくというものです。



特別出品/吉野石膏コレクション
(山形美術館に寄託)

「レニールオーギュスト・トルソワール
「赤いブラウスの若い女(コナ・ロマ)」
(1891~1905年、油彩・キャンヴァス)

またこの度、特段のご高配を賜り、同館に寄託されている「吉野石膏コレクション」よりトルソワールの油彩画1点を特別にご出品いただける運びとなりました。

本展で、近・現代フランス絵画の精髓を、心ゆくまでご堪能いただけることと確信しております。

一度は見たかったあの画家の作品が鷹山美術館で間近にご鑑賞いただけます。しかも、全作品本画です！お見逃しのないようお誘い合わせのうえ是非お出掛けください。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

20世紀フランス絵画の精髓展 Information & 反の会会員の皆様優待事業

4月25日(日)→6月6日(日) 会期中は無休
入館時間/10:00→17:30(閉館18:00)

■入館料■

一般850(650)円/学生400(320)円/小中学生200(160)円
※()内は前売、団体、県民カレッジ受講者、JAF会員割引料金
※前売券は当美術館及び下記にて4/24迄お求めいただけます
サークルサカス、ファミリーマートほか[チケットぴあ/コード764-091]
[JTB商品番号0227201]

※友の会会員の皆様は特典とおりご入館いただけます

■展示替え休館■

4/17(土)~24(土)迄・6/7(月)~11(金)迄

▶4月24日(土)

14:00~ 開催式・テープカット・内覧会

15:00~ 山形美術館 加藤千明館長 ガラリー・トーク

*友の会会員の皆様をはじめとする関係各位を特別招待いたします。一般公開に先立ちゆったりと落ち着いた空間で作品をご鑑賞いただけます。

18:30~ 秋田漣シャンソンの夕べ

*「フランス絵画」に囲まれた絵画室で、シャンソン・ライブを開催!一席2,000円。弘前市生まれ弘前市在住、津軽をこよなく愛するシャンソン歌手・秋田漣さんをお迎えします。

松伯美術館コレクション、華麗なる美の系譜

上村家三代／松園・松篁・淳之展

7月11日(日)～8月22日(日)

日本画壇に美人画・花鳥画の世界で
研ぎ澄まされた美を表した、上村松園、
松篁、淳之の親子三代による日本画展
を開催します。

上村松園は、女性としては初めての
文化勲章を受章するなど、女性が画家
となるには至難の時代にありながら、
格調高い女性像を描き出し、近代美人
画の第一人者としてその道を極めまし
た。幼い頃からそのような母の傍らで絵
に親しんできた子息・松篁は、ごく自然
に画家を志し、写実性と装飾性とは調
和した優美で気品溢れる「現代花鳥
画」といふに相応しい日本画の新機軸
を確立しました。そして今日、この華麗
なる美の系譜は、松篁の長男・淳之氏に
確固と受け継がれ、父同様に花鳥画の
世界で活躍、三代続けての日本芸術院
会員に就任するという偉業を成し遂げ
ました。現在、創作活動の傍ら、上村家
三代の画業を顕彰した松伯美術館館
長として、また、創画会理事長としても
多忙な日々を過ごされています。

本展は、奈良県・財団法人松伯美術
館のコレクションから、日本画壇におい
て奇跡的な存在とも言える上村家三
代の、日本画に表された研ぎ澄まされ
た感性・美の世界を紹介すると共に、上
村家に脈々と受け継がれた想い・美の
伝統を検証しようというものです。

第70回国際写真サロン展

10月9日(土)～11月7日(日)

当館恒例の写真展としてお馴染みの
本展は、全日本写真連盟主催による写
真コンテスト「国際写真サロン」から、入
賞作品に選ばれた全130点を紹介す
るものです。写真表現の可能性に挑戦
し、プロ・アマ、国内外を問わず応募で
きるコンテストならではの、多彩な写真
表現をご堪能ください。

第10回鷹山賞児童作品展
第10回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展

鷹山賞児童作品展10周年記念
濱田進展／鷹山賞10年のあゆみ展

11月14日(日)～1月23日(日)

子どもの時代の環境や風土が、いかに
豊かな感性を育む大切な要素の一つと
なっているか・・・郷土の画家・鷹山宇一が
それを証明してくれています。

「子どもの感性は風土の中で培われる」
を合い言葉に、七戸町教育委員会と当館
との共催により、絵画コンテスト「鷹山賞
児童作品展」を開催して早10年の歳月が
流れました。今年も、青森県南部地方
の小中学生に作品を公募して、新しい
時代を担う皆さんに、制作体験を通して
豊かな感性を養っていただくこと、そし
て、自由な創造の喜びを味わってもらえ
たなら、と切に願いつつ、開催いたします。
今年はその入賞・入選に選ばれた作
品を展示するのとはより、10回展を

東北新幹線「七戸十和田駅」開業記念
ソコ・マージュギターライズ
7/10(土) 当美術館を会場に開催！
日催/エーテルワイスの会、共催/鷹山美術館
■入場料(前売のみ)■ 大人3,000円、小・中・高校生500円
スペイン政府奨学生としてアンドレス・セゴビアに師事、クラシッ
ックギターを学ぶ。のち、1992年に他界したfolklore音楽の世
界的演奏家兼作曲家のアタアルバ・ユバンキに優れた才能を認
められ、弟子をとらなかつた彼の世界で唯一の弟子となり、愛
用のギターの名器(ヌーニョス)とソコ・マージュ(心の河の
意)の名を贈られる。魂を揺さぶるソコ・マージュ氏の
ギターと歌を是非一度お楽しみください。

記念して、歴代の鷹山賞受賞作品によ
り「鷹山賞10年の歩み」を、ご紹介しま
す。また、第1回展から審査員長を務め
ていただいている、二科会絵画部会員・
濱田進展先生の作品を、特段のご高配を
賜りご紹介させていただけることとな
りました。

もちろん、今展に併催して、財団法人
日本品質保証機構、国際認証機関
ネットワークが主催する、世界各国の
子どもたちに「地球環境」をテーマに作
品を公募した「地球環境世界児童画コ
ンテスト」から優秀作品をご紹介しま
す。盛り沢山の内容で、子どもたちの
ための絵画展をさらに盛り上げて行
きたいと思えます。お楽しみに！

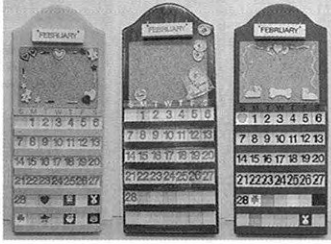
***** 鷹山宇一記念美術館平成22年度展覧会スケジュール(予定) *****

4/17(土)→4/24(土)	展示替え休館	
4/25(日)→6/6(日)	山形美術館 服部コレクション ～伝統とエスプリ～ 20世紀フランス絵画の精髓	無休
6/7(月)→6/11(金)	展示替え休館	
6/12(土)→7/4(日)	常設展/ミュージアム・コレクション 鷹山宇一の世界展	月曜
7/5(月)→7/10(土)	展示替え休館	
7/11(日)→8/22(日)	松伯美術館コレクション～華麗なる美の系譜～上村家三代/松園・松篁・淳之展	無休
8/23(月)→8/27(金)	展示替え休館	
8/28(土)→10/3(日)	常設展/ミュージアム・コレクション 鷹山宇一の世界展	月曜
10/4(月)→10/8(金)	展示替え休館	
10/9(土)→11/7(日)	第70回国際写真サロン展	月曜
11/8(月)→11/13(土)	展示替え休館	
11/14(日)→1/23(日)	第10回鷹山賞児童作品展/第10回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展 鷹山賞児童作品展10周年記念「濱田進展/鷹山賞10年のあゆみ展」	月曜
1/24(月)→2/4(金)	展示替え 館内整備のため休館	
2/5(土)→4月中旬	常設展/ミュージアム・コレクション 鷹山宇一の世界・七戸ゆかりの画家たち展	月曜



「こちらの教室からは、1月24日、2月7日に行った「カレンダーづくり」の様子をご紹介します。

今年度最後のトルペイント制作となる今回は、大作に挑戦しました。一度つくったら、壊れるまで半永久的に使うことができるカレンダーです。その月ごとに、日付のプレートを入れ替えなければなりません、それも楽しみのひとつです！



まずは好きな色をペイントすることか

■「WOOD CUTTERS CLUB」
「木こりの工房」

美術館 ●●●●●
ワークショップ ●●●●●
ものづくり教室 ●●から

ウッド カッターズ クラブ
WOOD CUTTERS CLUB
— 木こりの工房 —

美術館あ〜っとくらぶ



「美術館あ〜っとくらぶ」
あ〜っとくらぶからは、2月13日に行った「七宝焼づくり」の様子をご紹介します。

当館で開催しているものづくり教室は、申込が定員いっぱいになることがほとんどありません。ですが今回は違いました。申込の電話が続き、気づいたときには定員いっぱい。何名かお断りさせていただいた方もいらっしゃいました。それほど七宝焼には魅力があるということでしょう。みなさんの制作にも力が入ります。最も基本的な、絵の具を盛るといった制作方法をとりました。キーホルダーとペンダント、おそろいでつくるのもよし、別々のデザインにするのもよし。一人ひとりのセンスが光る一品に仕上がりました。



「美術館あ〜っとくらぶ」
あ〜っとくらぶからは、2月13日に行った「七宝焼づくり」の様子をご紹介します。

当館で開催しているものづくり教室は、申込が定員いっぱいになることがほとんどありません。ですが今回は違いました。申込の電話が続き、気づいたときには定員いっぱい。何名かお断りさせていただいた方もいらっしゃいました。それほど七宝焼には魅力があるということでしょう。みなさんの制作にも力が入ります。最も基本的な、絵の具を盛るといった制作方法をとりました。キーホルダーとペンダント、おそろいでつくるのもよし、別々のデザインにするのもよし。一人ひとりのセンスが光る一品に仕上がりました。

◎ スタッフのひとりごと

「一年間だけ」という条件付で、財団に採用していただいた日が懐かしい。この時期になると、よくわけわからずになっていた新人の頃を思い出す。勤務は3月29日から2日後には内覧会でテープカット用のリボンを持たされ、展覧会初日にはお客様がわんさか、受付やらグッズ販売やら…もちろん私が担当する工作教室も…ああ、やることいっぱい…思い出すとあやつられ人形?のようだった。ご存じのとおり財団の職員は限られた数。新人に研修などしている時間はなく、口には出さねど「仕事は体当たりで覚えなさい!!!」的な雰囲気があり、内気な私は自分が邪魔物に思えてきて、就職先を見つけてさっさと辞めようとして考えていた。

しかし、その環境が私にはよかったらしい。受付・接客はもちろん、展覧会運営、展示替作業、作品管理、施設管理、教育普及、事務処理…と美術館の業務は実に多様。自分の担当だけをこなせばいいというわけではない。限られた人員で仕事を進めるには「協力」と「思いやり」が不可欠である。何でも屋にならなければいけないのだ。あきっぱい性格の私には、めまぐるしく変化する毎日の仕事が新鮮に感じられた。「何でも屋」が性に合っている。そう思えるようになったのは勤務してから3年目のことであった。

一番好きな仕事は「釘打ち」。私の場合、釘は無心で打たないと必ず曲がってしまう。「計算した位置に釘を打つ→作品を架ける→高さがピッタリ→「いいねえ」と作品を褒める」一度で完璧に仕上がったときの快感は何度味わっても心地よい。展示室に響くトンカチの音とあいまって、私の中の大工様が目覚めるのである。

そんなこんなで5年の月日が経つ。近いうちに「仕事に飽きる」予定はないが、今年はどうな『何でも屋』になるのか、今から思案しているところだ。 [T. S]

2010年度からの新事業

— 予定 —

本年12月に予定されている東北新幹線「七戸十和田駅」開業を控え、駅前の美術館として県内外のお客様をお迎えするに当たり、鷹山美術館では新たな事業を企画・実施していこうと只今準備を進めておりマス(^_^)v 現在、3つの事業を開催予定デス

■七戸アートツアー(5~11月迄の月1回)

鷹山一帯をはじめとする収集作家や収蔵の資料への理解を一層深めていただくこと、美術館を飛び出して町内ゆかりの地を巡るツアーを企画しています!

■旅の思い出に"おみやげ"手作り講座

「シルバーアクセサリー」と「アルバム絵本づくり」いずれかを制作していただき、世界にたった一つだけ! の、思い出の記念品づくりをお手伝いします!

■まちかど美術館 "しちのへのこがワタシのお気に入り♥"

町内幼稚園保育園5歳児サンに町の魅力・見所を絵画に表現してもらいます。「子どもの感性は風土の中で培われる」を合い言葉に、未来を担う子どもたちに自由な創造の喜びと楽しさを味わってもらおうとともに、作品を商店街協力店舗に展示させていただき、町内外の多くの方々に、町の魅力を発信・再確認していこうというものです。

● 美術館日誌 ●

【12月】

- ▼1日/七戸町立七戸小学校1年生児童・教員40名様、6年生児童・教員47名様ご来館。ICT業者来館打合せ。セコム十和田営業所長来館打合せ
- ▼2日/七戸町立城南小学校1年生児童・教員43名様、6年生児童・教員48名様ご来館。戸館館長、坪青森市出張(公益法人セミナー)
- ▼3日/七戸町立七戸小学校3年生児童・教員45名様、4年生児童・教員39名様ご来館。
- ▼4日/七戸町立城南小学校4年生児童・教員48名様ご来館
- ▼5日/美術館あくっと！くらぶ「年賀状版画づくり」開催
- ▼6日/東京エコー27名様ご来館。美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼8日/七戸町立七戸小学校2年生児童・教員40名様、5年生児童・教員39名様ご来館
- ▼9日/七戸町立城南小学校5年生児童・教員39名様ご来館
- ▼10日/鷹山宇一誕生記念日「遊蝶記」、終日無料開館、「遊蝶記の集い」開催。美術館消防設備定期点検(昭和電気)
- ▼12日/佐伯青森市出張青い森ファンド助成事業中間報告会
- ▼13日/WOOD CUTTERS CLUB「切り絵で年賀状づくり」開催
- ▼16日/戸館館長八戸市出張(公益法

- 人改組打合せ)。大池、佐伯十和田市出張(十和田湖広域観光協議会出席)
- ▼17日/佐伯「七戸町まちづくりの会」会議出席(七戸庁舎)
- ▼19日/七彩会油絵教室
- ▼20日/WOOD CUTTERS CLUB「お正月飾りづくり」開催。ATVテレビ番組「いいふるさと、いい話みつけた」収録のため絵馬館を中心に取材
- ▼23日/佐伯、榎林子ども会工作教室講師として出前出張
- ▼24日/佐伯十和田市出張「上北教育ゼミナール」フチ造形講師
- ▼26日/美術館あくっと！くらぶ「お正月飾りづくり」開催
- ▼27日/友の会会報57号送作業
- ▼29日/美術館仕事納め(30日〜1月2日迄年末年始休館)

【1月】

- ▼3日/美術館仕事はじめ
- ▼5日/佐伯十和田市出張十和田湖広域観光協議会魅力連携部会出席
- ▼7日/佐伯「七戸町まちづくりの会」会議出席(七戸役場本庁)
- ▼9日/当財団平成22年第1回理事會開催
- ▼12日/戸館館長十和田市出張(十和田湖広域観光協議会出席)
- ▼13日/戸館館長、大池十和田市出張(十和田市現代美術館、三沢市寺山修司記念館との3館連携事業打合せ)。佐伯青森市出張(十和田湖広域観光協議会魅力連携部会出席)
- ▼14日/戸館館長青森市出張NHK青森放送局テレビ番組「ホッとHOT

- 青森に生出演)
- ▼15日/大池、佐伯三沢市出張(十和田湖広域観光協議会魅力連携作業部会出席)
- ▼16日/友の会海外研修旅行説明会開催(2階工房)。友の会役員会・新年會開催(杉屋敷)
- ▼17日/美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼19日/佐伯十和田市出張(十和田湖広域観光協議会作業部会出席)
- ▼20日/戸館館長山形市出張(特別展打合せ)。大池、鷹山作品資料調査(町社協)
- ▼21日/天間みどり保育園園児・保育士21名様ご来館。2階工房において「七戸町まちづくりの会」事業検討會開催、佐伯出席
- ▼22日/「青森着地型旅行商品造成人材育成講座、七戸モデルツアー」に大池参加
- ▼24日/WOOD CUTTERS CLUB「カレンダーづくり」開催。鷹山賞児童作品展最終日(会期中の入館者1,327人)
- ▼26日/館内整備・展示替えのため臨時休館(2月5日迄)
- ▼29日/戸館館長、大池青森市出張(青森放送、東奥日報社とフランス絵画展打合せ)
- ▼30日/美術館あくっと！くらぶ「キヤンドルづくり」開催

【2月】

- ▼1日/戸館館長東京出張(2日迄)
- ▼3日/美術館電気設備定期点検(佐藤電気)

- ▼4日/絵馬懇談會開催
- ▼5日/佐伯「道の駅オーピングイベント説明会」に出席(七戸庁舎)。美術館自動ドア定期点検(ナブコ)
- ▼6日/常設展「鷹山宇一の世界」、七戸ゆかりの画家たち展「初日」。七彩会油絵教室
- ▼7日/東北町立東北東中学校父兄11名様ご来館。WOOD CUTTERS CLUB「カレンダーづくり」開催
- ▼9日/セコム十和田営業所長来館、工事打合せ
- ▼10日/戸館館長、坪八戸市出張(近田会計事務所打合せ)
- ▼12日/大池、青森県営農大蔵上泉華陽作品資料調査
- ▼13日/美術館あくっと！くらぶ「七宝焼づくり」開催
- ▼14日/WOOD CUTTERS CLUB「アルパム絵本づくり」開催
- ▼16日/町新幹線対策課、2階工房において県議会特別委員会視察に伴う説明會開催。戸館館長、坪十和田市出張(保健所)
- ▼17日/後藤美術館顧問江積一重様、オフィス・ヨシオカ代表取締役吉岡隆重様ご来館、昼食會を開催
- ▼20日/戸館館長弘前市出張(秋田連氏シャンソンの夕べ打合せ)
- ▼24日/三沢市寺山修司記念館副館長笹目浩之様ご来館。2階工房において「七戸町まちづくりの会」事業検討會開催
- ▼26日/佐伯青森市出張(あおもり芸術振興ネットワークプロジェクト研究会出席)
- ▼27日/エルム文化センター25名様ご来館

わたしの
おすすすめ
美術館

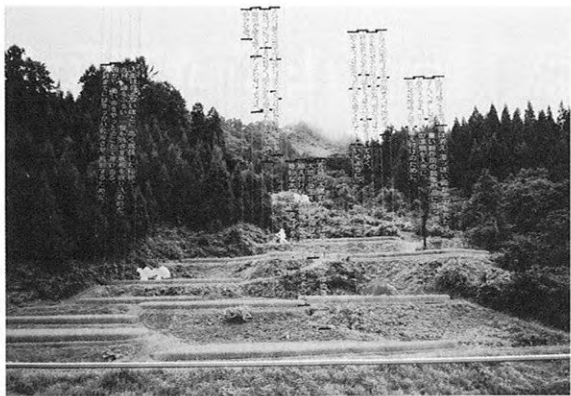
里山に開花した現代美術

大地の芸術祭
越後妻有アートトリエンナーレ

十和田市 小川展子

二〇〇〇年から始まった大地の芸術祭の総合ディレクターは七戸町と縁の深い北川フラムさんで、本美術館のスペイン館にも多くの陶器を寄贈されています。

この芸術祭は、新潟県の山間部を舞台に、美術を媒介として里山の持



イリヤ&エミリア・カバコフ 「棚田」



行武治美「再構築」

つ数々の魅力を世界に発信し、過疎化に悩む地域再生への道筋を探ろうとする三年に一度のお祭りです。

昨夏は私自身三度目の訪問となり、十日町駅に降りた時には郷愁すら覚ええました。東京二十三区を超えるほどの広大な会場に、世界四十ヶ国のアーティストによる約三七〇点の作品が点在し、そのスケールには圧倒されます。集落や田畑、空き家、廃校などの多様な場で世界の最先端の現代美術に出会うことができます。私も地図を片手にレンタカーで一日二五〇kmも走りました。また車窓から見た美しい棚田には本当に感動しました。

多くの作品の中で私にとっての圧巻は、田島征三による廃校を舞台とした「絵本と木の実の美術館」でした。三年前に閉校したときの最後の在校生を永遠の生徒として、流木を使って色彩豊かに空間を飛び回る躍動感溢れる作品です。

また、この芸術祭の醍醐味は過去の作品も少なからず残していることです。例えば、真つ暗な校舎に心臓音とともに数々の作品を仕掛けたクリスチャン・ボルタンスキー、ジャン・カルマンの「最後の教室」、屋

根がスライドして天井が開き、刻々と変化する空の色が楽しめるジェームズ・タレルの「光の館」、何千枚もの丸い鏡に覆われた家で豊かな自然を映し出した行武治美の「再構築」等があります。

もう一つの魅力は、アーティストが地域住民と長い時間をかけて交流し、協働しながら作品を制作しているため、どの作品も人の温かさを感じる事ができることです。さらに「こへび隊」という大学生を中心とした大勢のボランティアが、集落のお年寄りとともに作品を管理し、来場者をもてなしてくれるところも素晴らしいかったです。私自身も行く先々でお茶をいただくことが、作品にまつわる話を伺うことができました。

今回は二〇一二年夏です。皆さんも大自然の中に身を置き、五感で存分に楽しんでみてはいかがでしょうか。



田島征三 「絵本と木の実の美術館」

…交通アクセス・お問い合わせは…

- 新潟県十日町観光交流課芸術推進室
- TEL: 025-757-2637
- URL: <http://www.echigo-tsumari.jp>
- JR上越新幹線越後湯沢駅～乗換～ほくほく線/1時間50分十日町駅下車
- 十日町駅からレンタカー、ガイド付きツアーバスが便利です。
- 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2009」(2009年7月26日～9月13日)は終了しましたが、その後もイベントが開催されており、残された作品を見ることができます。詳細は、推進室HPを参考にしてください。

メッセージ

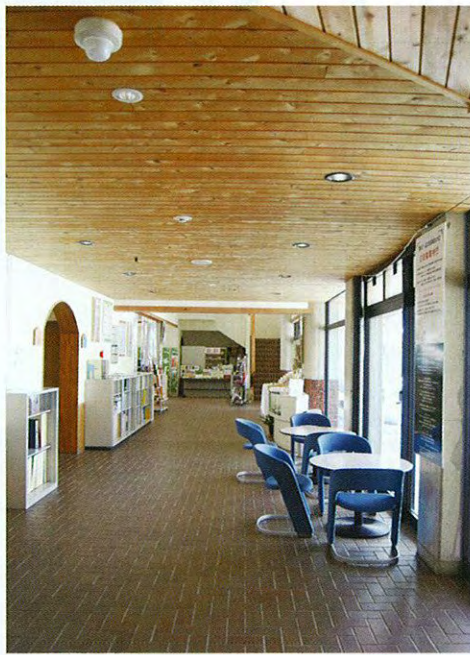
地域と都市、アーティストと里山、若者とお年寄りの交流と協働の中から生まれた田んぼや空き家、廃校の作品は、訪れた人々に農業を通して大地と関わってきた私たちの祖先の営みを伝え、お爺ちゃん、お婆ちゃんの笑顔が嬉しい妻有として多くの人々に共感を与えてくれました。

棚田オーナーや産地直販を始め、その土地ならではのおいしいシシトリーや山野草の料理は固有の時間を浮かび上がらせ、地域の人々と心を通わせる人々の活動に力を与え続けています。ひとつの希望の土地として、アーティストはもろろん、多くの外国の地域活動組織、大学が関わり出しました。地域に育まれたハフオーマンス、音楽、美術が集う場所として妻有は動いています。すでにそこにあるものに人間の活動が加わり、地域が元気になるように。

大地の芸術祭にいらして下さい。

総合プロデューサー 福武總一郎
総合ディレクター 北川フラム

鷹山宇一記念美術館所蔵の画集、写真集ご利用のお願い



会員同士で気軽に訪れ、サロン感覚で八甲田連峰を眺めゆったり休憩・・・。

鷹山宇一記念美術館では、「世界の美術館」全一〇〇冊シリーズを初め、日本の代表的な美術館を取り上げ解説している週刊朝日百科「MUSEUM日本の美術館を楽しむ」シリーズ全五十巻、週刊世界の美術館、原色日本の美術、日本美術院百年史、棟方志功全集等、数多くの画集や写真集等を用意しています。

気のあつた友人同士で、あるいはご家族で特別展や常設展をゆくりとご鑑賞いただいたあと、椅子に座り画集・写真集をご覧になつていただき、訪問した美術館のことなどに話しの花を咲かせましょう。

いひとときを過ごして下さい。また、西洋絵画の歴史を作った巨匠達の興味深い人生のエピソードを添えて、全五十巻三〇〇〇点以上の名画を世界最高水準の印刷で再現の巨匠達の代表作一点を原寸大でみる事が出来る小学館の「西洋絵画の巨匠」を購入致しました。美術館と友の会の発展のために会員各位のさらなるご利用をお願い申し上げます。

(T・T)



図書コーナー

友の会会員登録の更新と新規会員登録入会お誘いのお願い

平成21年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なご力添えをいただき、誠に有り難う御座います。新年度も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んでいただけるよう研修旅行、講演会などを企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。なお、更新手続きは美術館窓口と郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行2011年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

○特別会員

年会費 1万円
特典 (個人・法人) ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

○賛助会員

年会費 2万円
特典 (個人・法人) ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★オランダ・ベルギー美術紀行

定員にまだ余裕がございます。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは、美術館へお問い合わせ下さい。

★ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

皆様の会報です。友の会事業全般、研修旅行、お便り、旅行記等をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

編集後記

☆三月中旬、南方からサクラ開花の報道がとどき届き始めると童謡「春よ来い」の「みいちゃん」の気持ちがよくわかる・・・。
日本の春の風物詩・お花見が待ち遠しい季節になりました。

☆会報編集に当たり、会員各位のさらなるご理解とご協力をお願い致します。

☆監視ボランティアにご協力出来る会員の方は美術館までご連絡下さい。
(T・T)